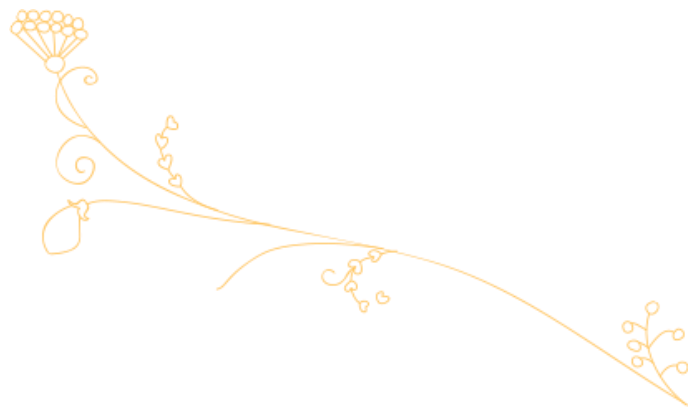




2018年12月期第3四半期 決算説明資料

2018年11月
株式会社セレス（東証第一部：3696）



1. ビジョンとビジネスモデル
2. 連結決算開始について
3. 2018年12月期第3四半期 連結決算概要
4. 事業概況と成長戦略



1. ビジョンとビジネスモデル

インターネットマーケティングを通じて 豊かな世界を実現する

セレスは、社会インフラとなったインターネットを通して、様々なマーケティングサービスを提供することにより、豊かな社会生活の実現をはかります。

モバイルから生活を豊かに

Online

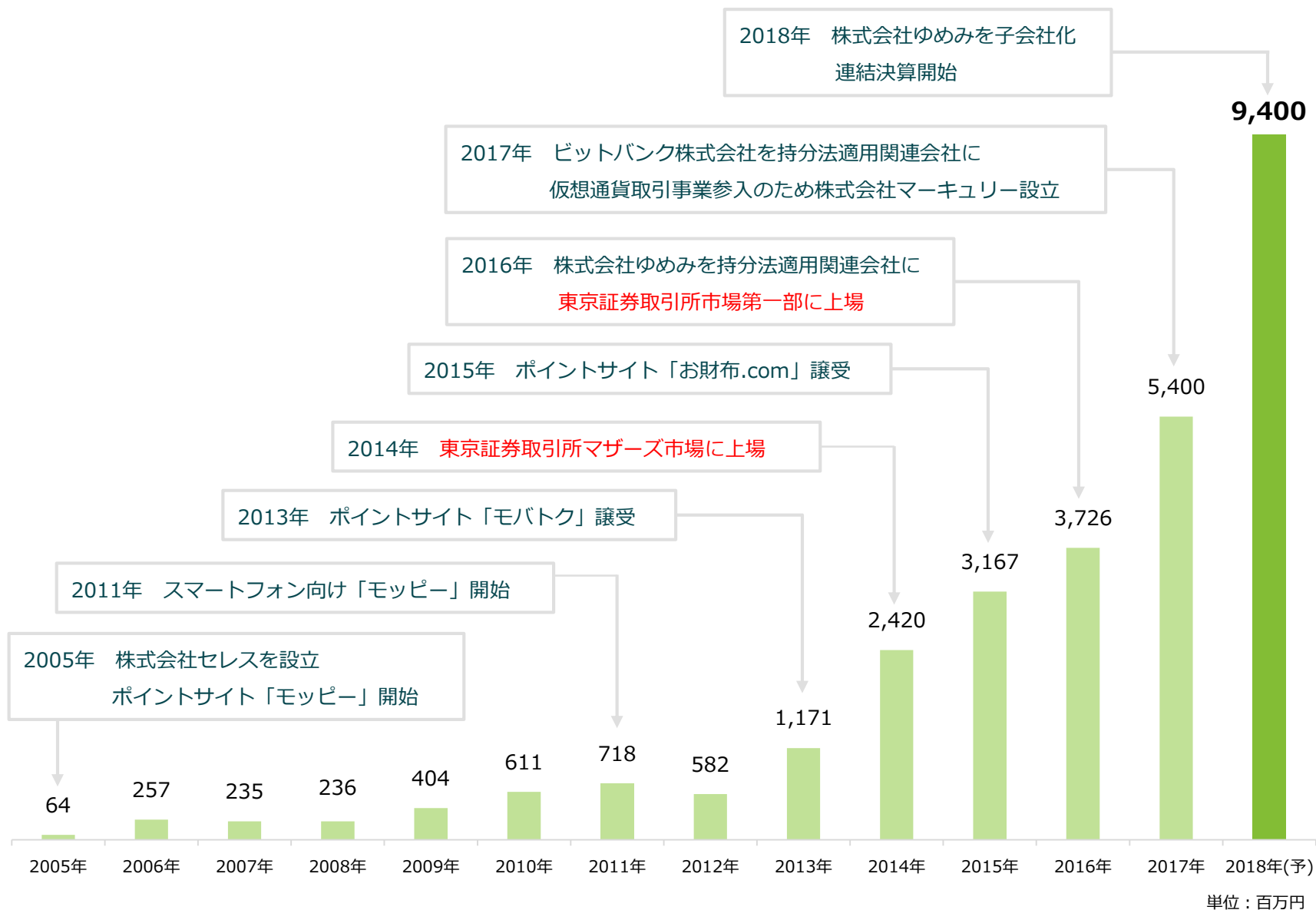
2

Offline














CERESとはギリシャ神話の「大地の女神」、「五穀豊穡の神」。
CERESはローマ名で、ギリシャ名はDemeter（デメテル）。

セレス成長の軌跡

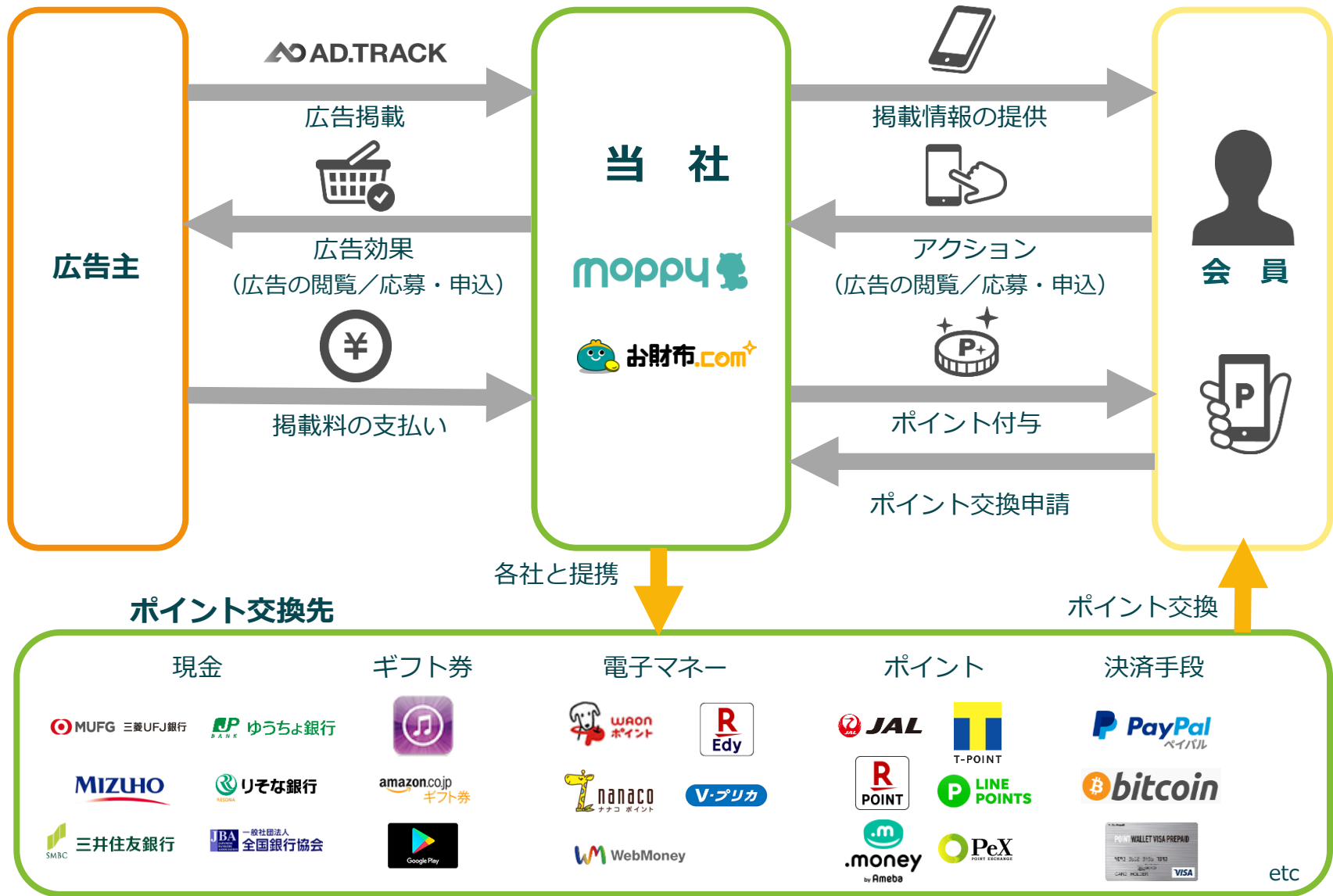


セレス事業領域と主要サービス

ポイントメディア・コンテンツメディアを中心とした「モバイルサービス」と「フィナンシャルサービス」の2セグメントより構成

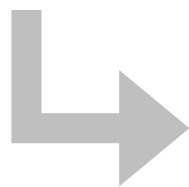
	モバイルサービス事業	フィナンシャルサービス事業
ポイントメディア	ポイントメディア   	スマートフォン決済 
コンテンツメディア	コンテンツメディア    	
O2O	オムニチャンネル 	仮想通貨関連  
その他事業		投資育成事業

ポイントメディアのビジネスモデル



トークン（Token）とは？

しるしや代用貨幣や商品引換券などと訳される



ポイント



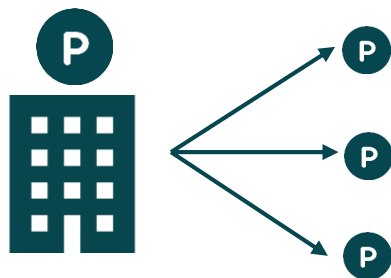
電子マネー



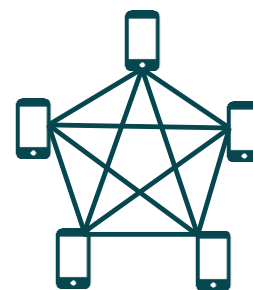
仮想通貨

※仮想通貨業界では仮想通貨=トークンといった形でつかわれるが、ここでは広義に解釈。

グローバルで進む「キャッシュレス社会の実現」に継続して注力



中央集権的なポイントビジネス



分散型のブロックチェーンビジネス



2. 連結決算開始について

ゆめみの子会社化に伴い2018年第3四半期決算より連結決算を開始

2018年第2四半期決算（非連結）



2018年第3四半期決算（連結）



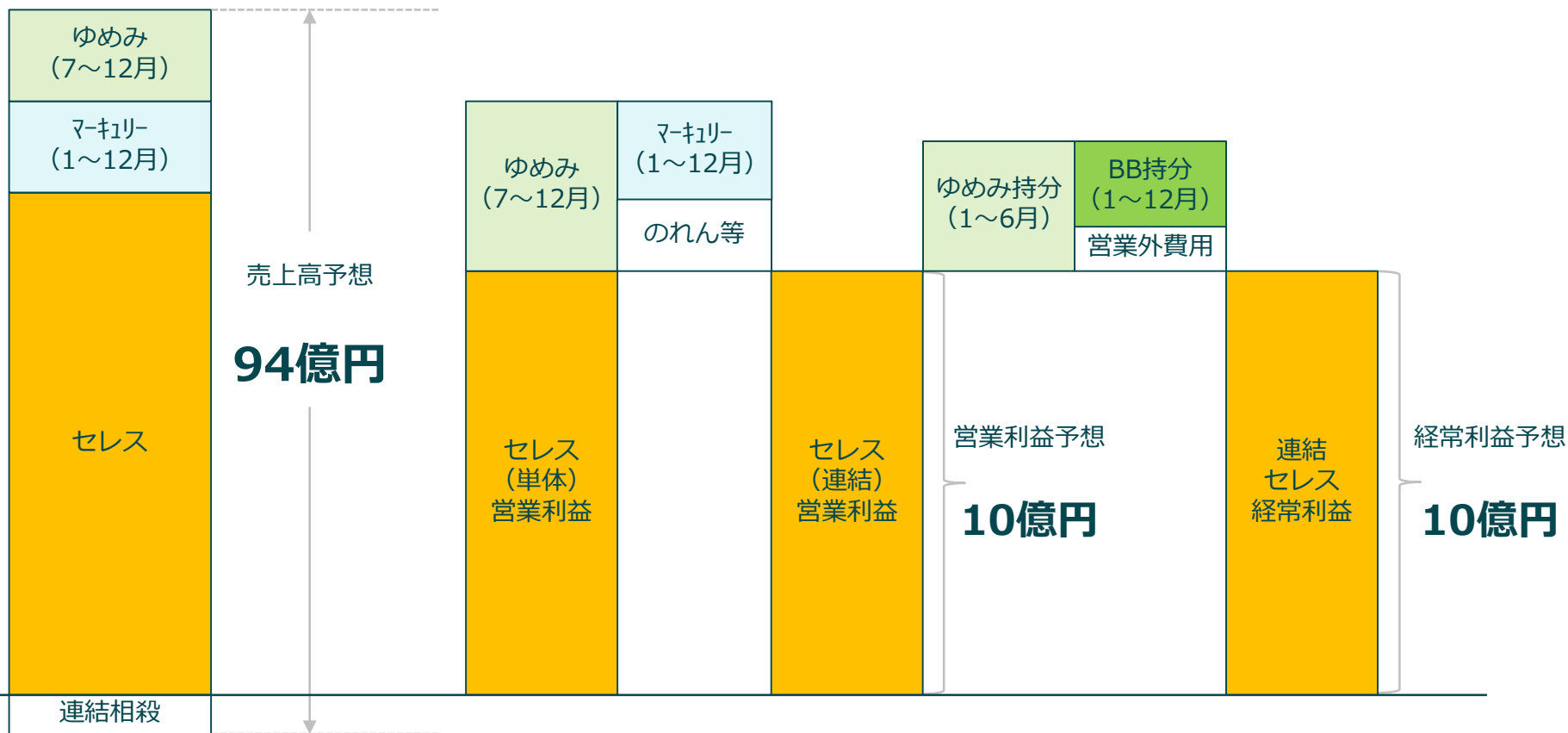
※重要性の原則により非連結子会社に

連結決算開始に伴う今期の連結業績予想のイメージ

売上高

営業損益

経常損益



3. 2018年12月期第3 四半期 連結決算概要

2018年12月期第3四半期連結累計期間 決算概要

売上高	7,379百万円	(前年同期比	85.0% 増)
営業利益	952百万円	(前年同期比	3.8% 減)
経常利益	1,010百万円	(前年同期比	2.1% 増)
当期純利益	797百万円	(前年同期比	18.9% 増)

※ 2018年度第3四半期より連結決算を開始したため、前年同期比は参考数値となります。

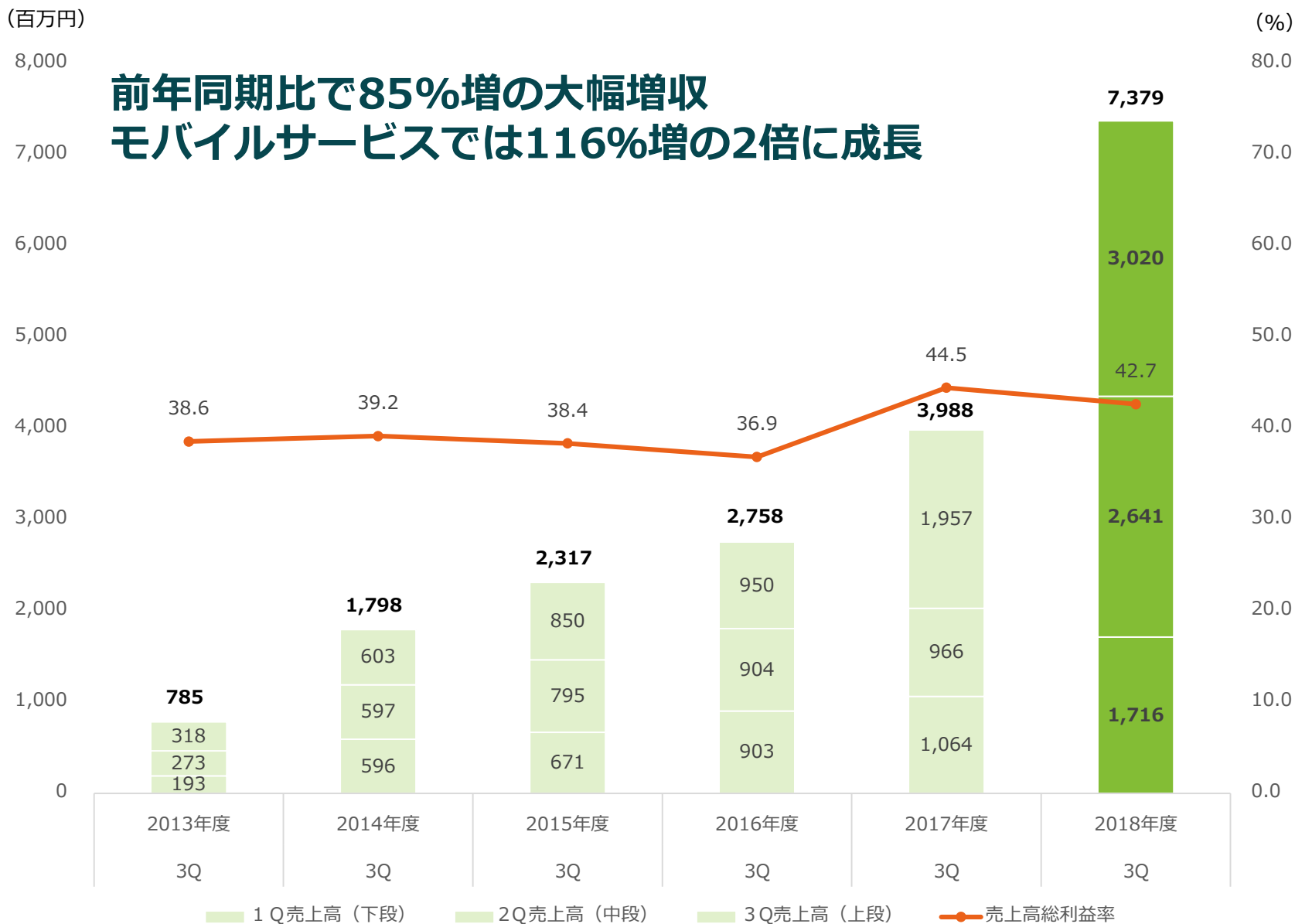
- 売上高は前年同期比で85%の増収となり大幅成長
- モバイルサービスセグメントで前年同期比116%の増収
- 昨年からの投資拡大の結果、コンテンツメディア売上が17倍と垂直成長
- 営業利益は前年比3.8%の減益も投資利益を除くと大幅増益に
- ゆめみの連結化により売上高加算とともに段階取得利益で純利益押上げ

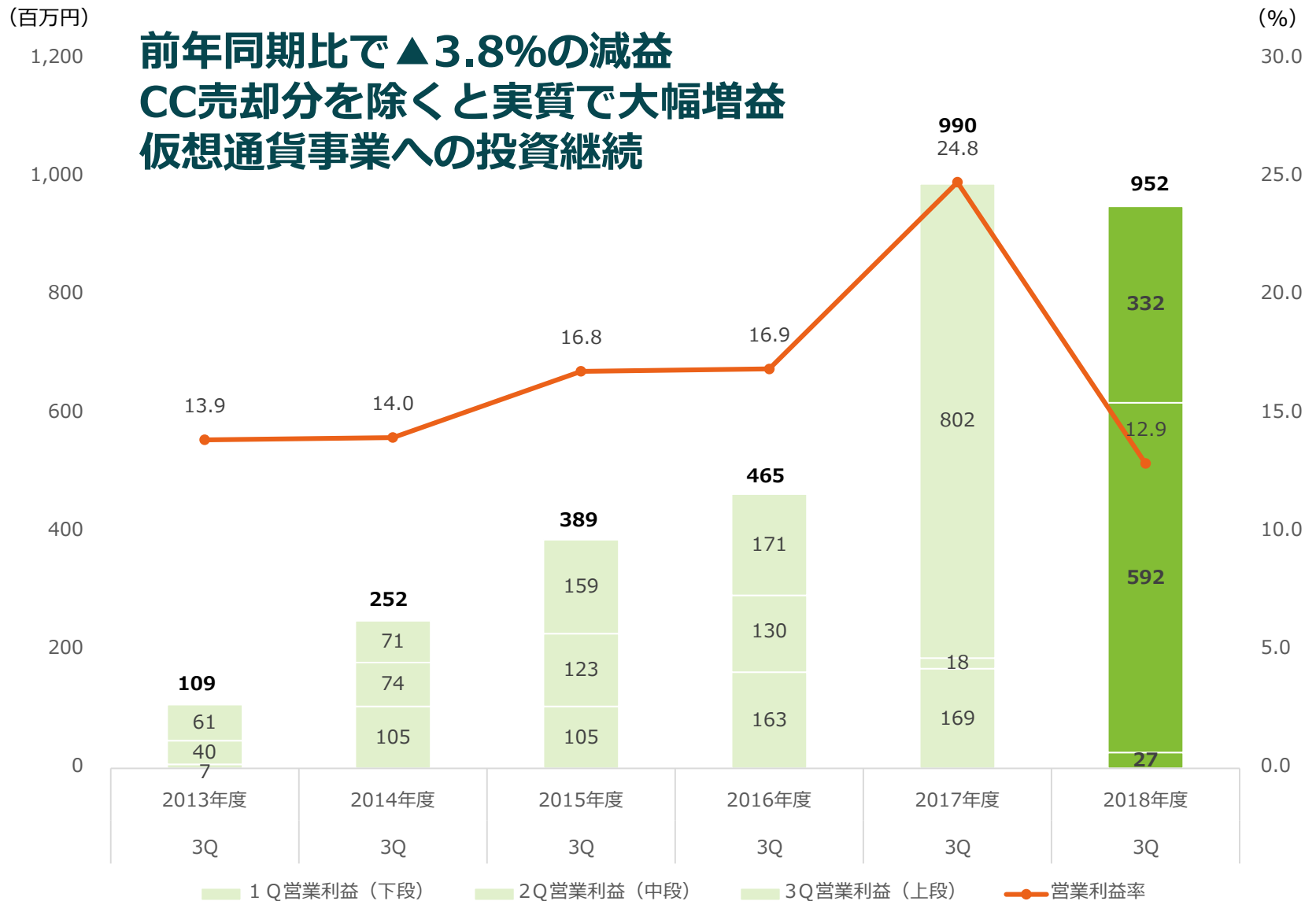
損益計算書の概要（第3四半期累計）

(単位：百万円)	2018年12月期 第3四半期累計・連結	2017年12月期 第3四半期累計・単体	前年同期比（※1）
売上高	7,379 (100.0%)	3,988 (100.0%)	+85.0%
売上総利益	3,148 (42.7%)	1,773 (44.5%)	+77.5%
販売費及び一般管理費	2,195 (29.8%)	782 (19.6%)	+180.5%
営業利益	952 (12.9%)	990 (24.8%)	-3.8%
経常利益	1,010 (13.7%)	988 (24.8%)	+2.1%
当期純利益	797 (10.8%)	670 (16.8%)	+18.9%
EBITDA（※2）	1,336 (18.1%)	1,077 (27.0%)	+24.0%

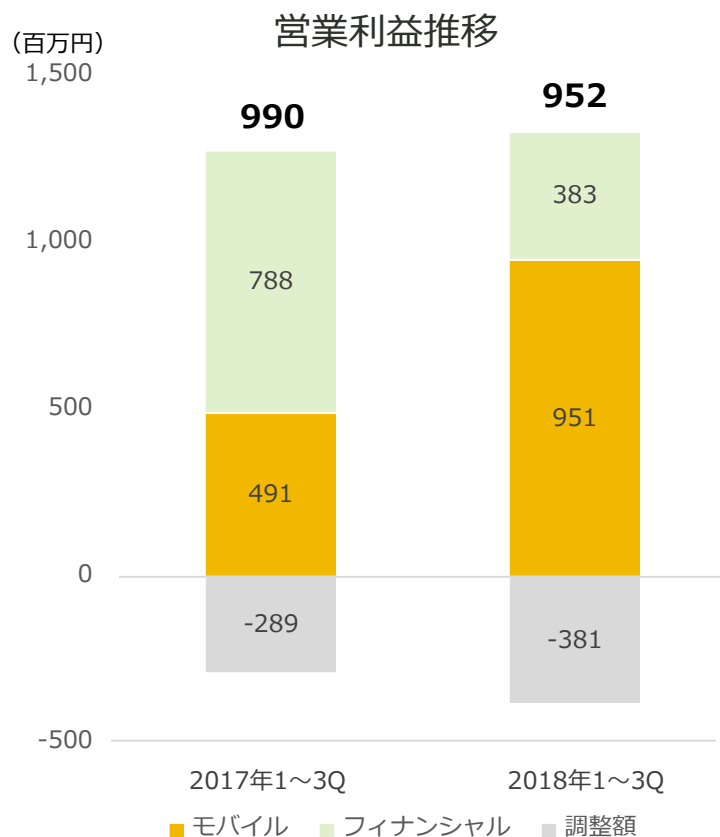
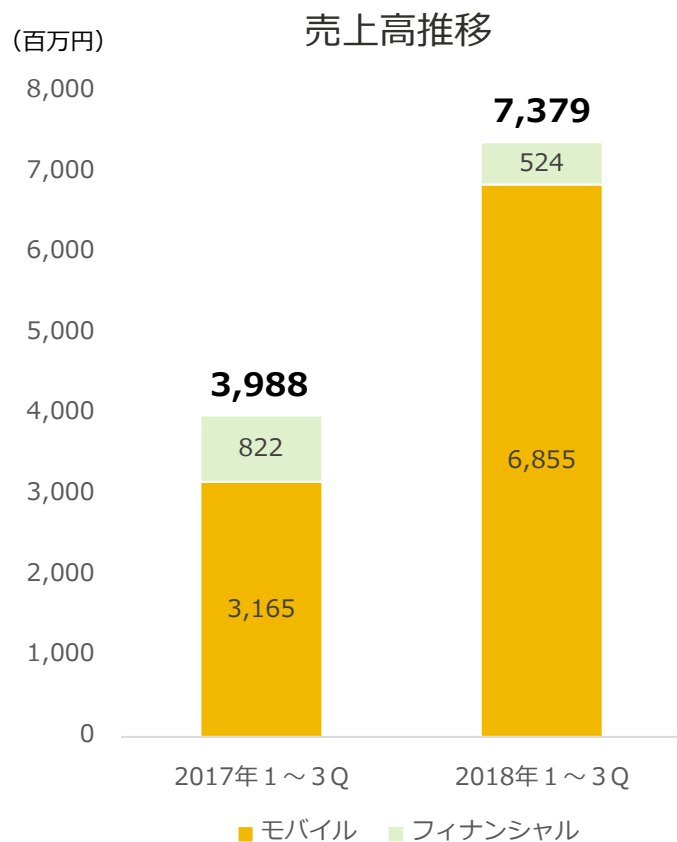
※1：連結業績と単体業績との比較になりますので、参考数値となります。

※2：EBITDA = 税引前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費（連結決算導入に伴い変更）

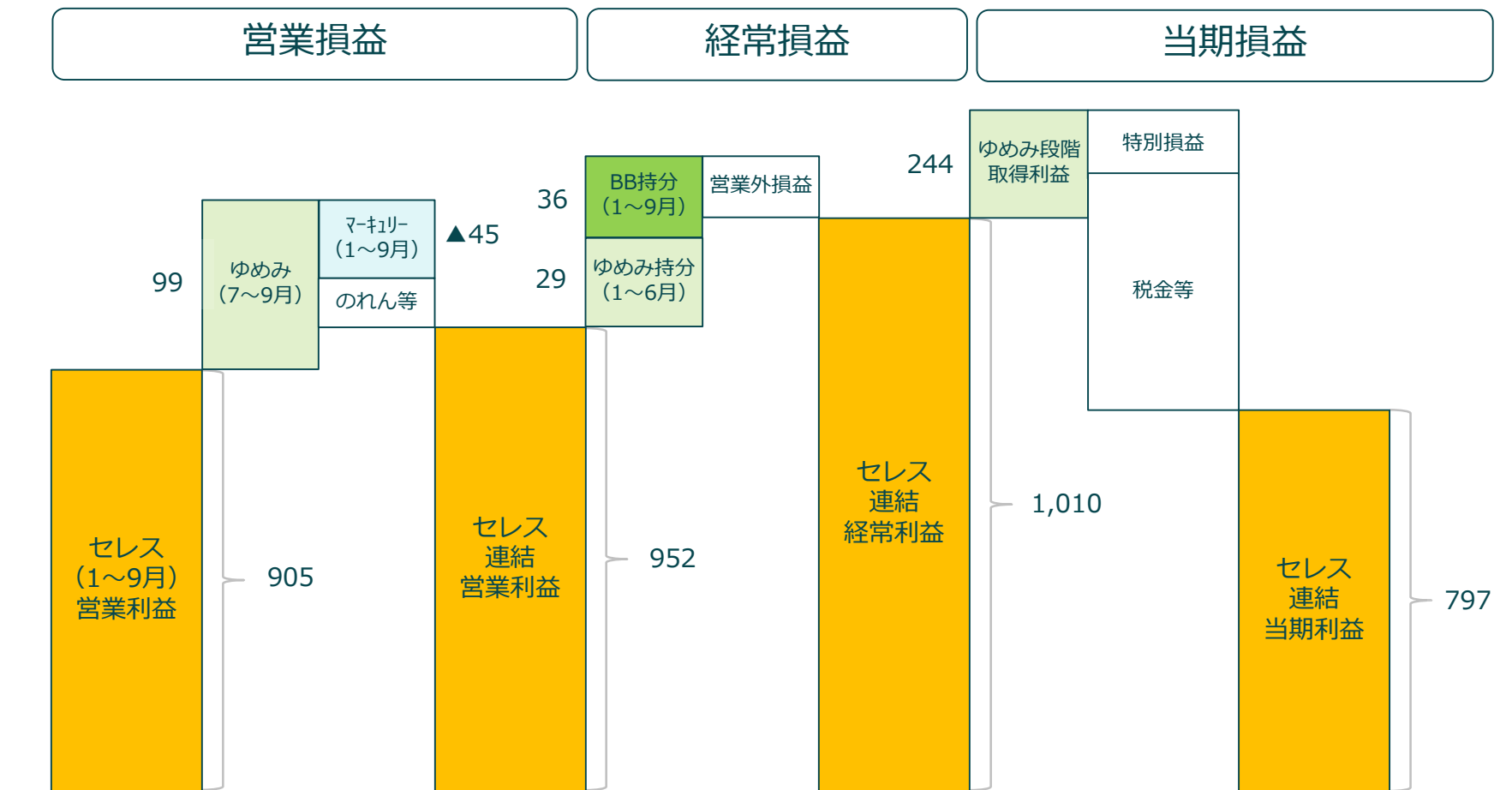




モバイルサービスで116%増収となり営業利益でも大幅増益に
 フィナンシャルサービスはマーキュリー投資分計上で減益に



連結決算開始に伴う第3四半期累計（連結）の営業損益の分解



(単位：百万円)

損益計算書の概要（第3四半期）

(単位：百万円)	第3四半期・連結 (2018年7-9月)	前年同期・単体 (2017年7-9月)	前年同期比（※1）	前四半期・連結 (2018年4-6月)	前四半期比
売上高	3,020 (100.0%)	1,957 (100.0%)	+54.3%	2,641 (100.0%)	+14.3%
売上総利益	1,242 (41.1%)	1,100 (56.2%)	+12.9%	1,305 (49.4%)	-4.8%
販売費及び 一般管理費	910 (30.1%)	297 (15.2%)	+205.4%	712 (27.0%)	+27.7%
営業利益	332 (11.0%)	802 (41.0%)	-58.5%	592 (22.4%)	-43.9%
経常利益	312 (10.4%)	800 (40.9%)	-60.9%	633 (24.0%)	-50.7%
四半期純利益	320 (10.6%)	548 (28.0%)	-41.6%	432 (16.4%)	-25.9%
EBITDA（※2）	525 (17.4%)	835 (42.7%)	-37.1%	708 (26.8%)	-25.8%

※1：連結業績と単体業績との比較になりますので、参考数値となります。

※2：EBITDA = 税引前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費（連結決算導入に伴い変更）

四半期売上高推移

(百万円)

3,000

**前年同期比54%増収で2期連続過去最高売上高に
CC株式売却分があった前四半期比でも14%増収
コンテンツの成長とゆめみの連結化が影響**

2,000

1,000

0

(%)

100

90

80

70

60

50

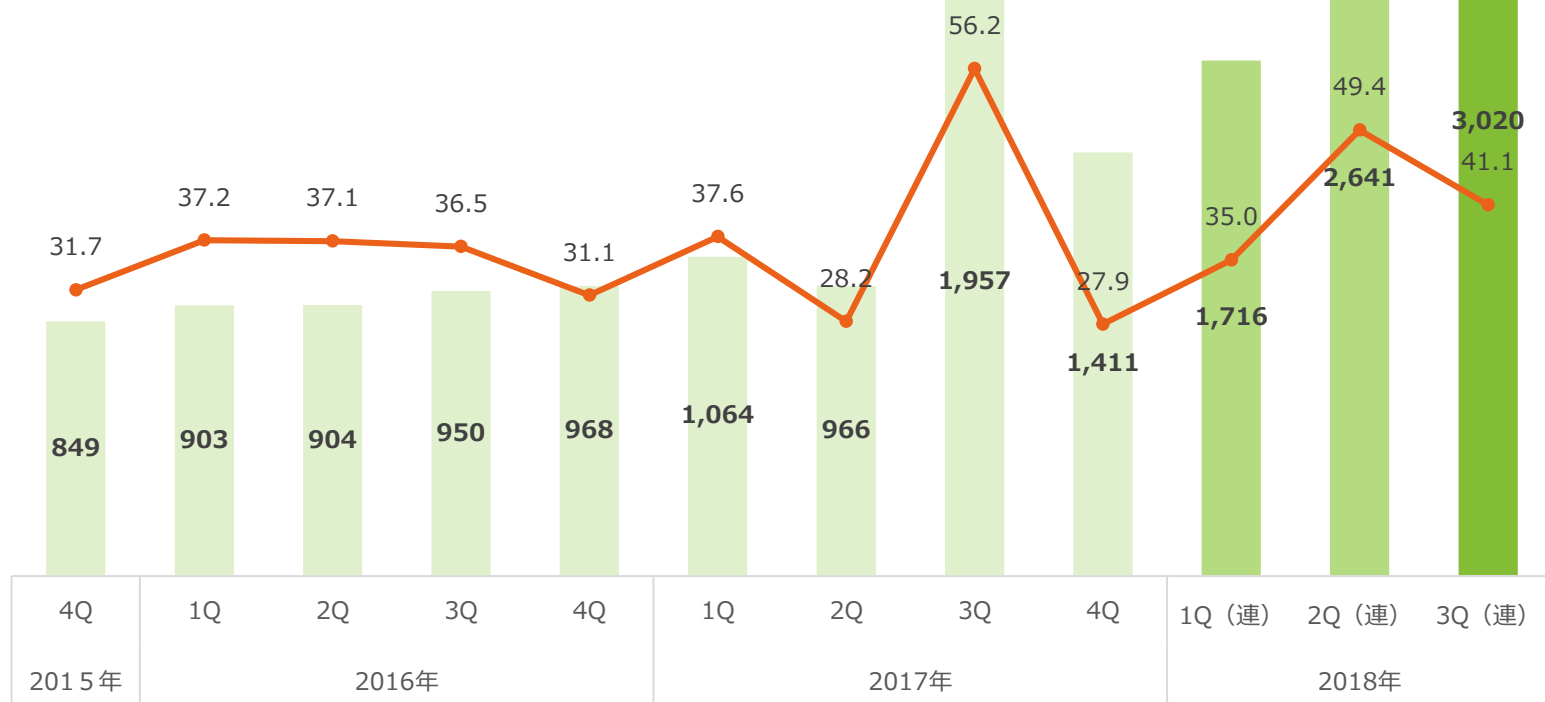
40

30

20

10

0



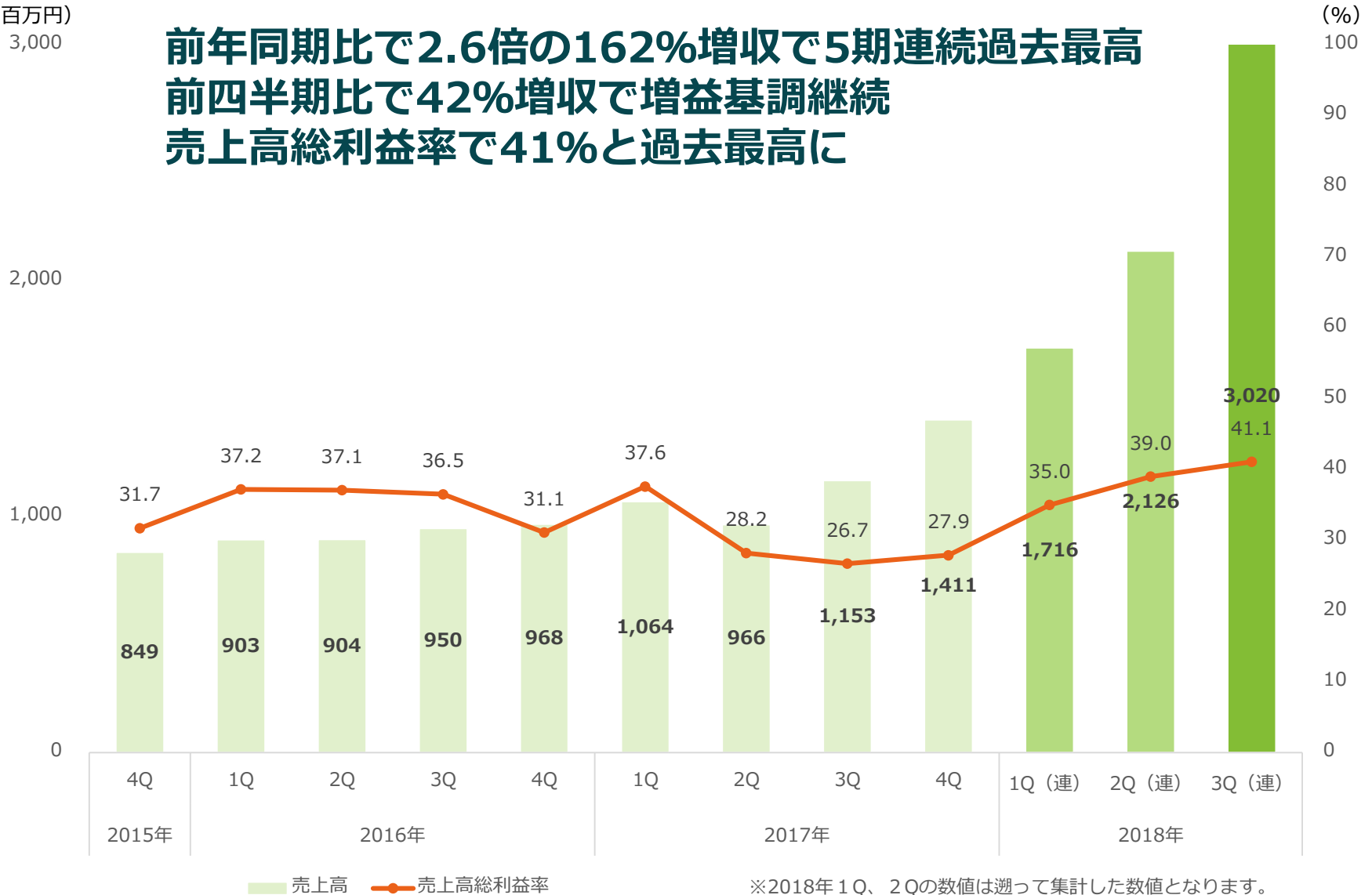
※2018年1Q、2Qの数値は遡って集計した数値となります。

■ 売上高 ● 売上高総利益率

四半期売上高推移（有価証券売却分除く）

(百万円)
3,000

前年同期比で2.6倍の162%増収で5期連続過去最高
前四半期比で42%増収で増益基調継続
売上高総利益率で41%と過去最高に



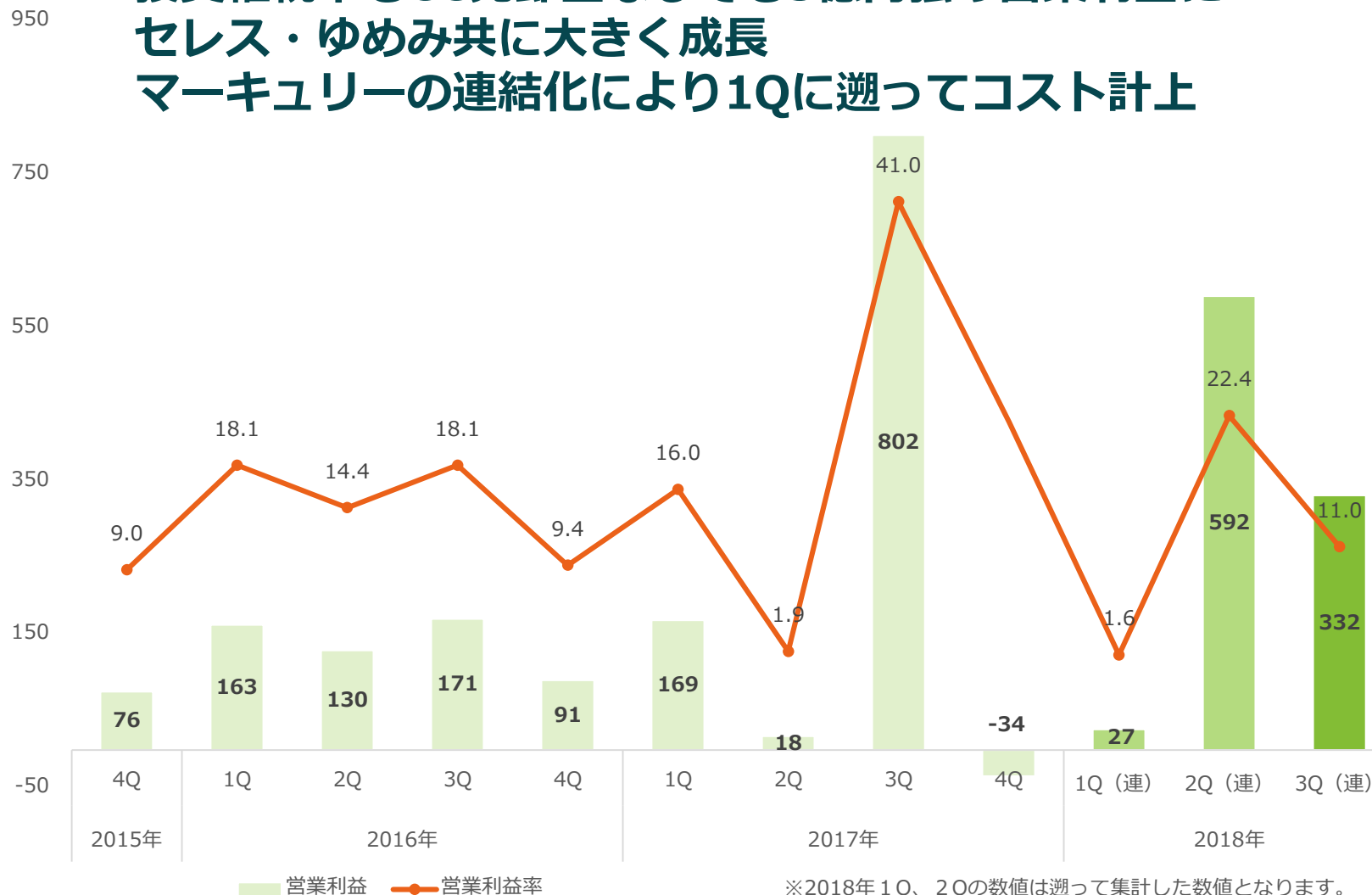
※2018年1Q、2Qの数値は遡って集計した数値となります。

四半期営業利益推移

(百万円)

**投資継続中もCC売却益なしでも3億円強の営業利益に
セレス・ゆめみ共に大きく成長
マーキュリーの連結化により1Qに遡ってコスト計上**

(%)



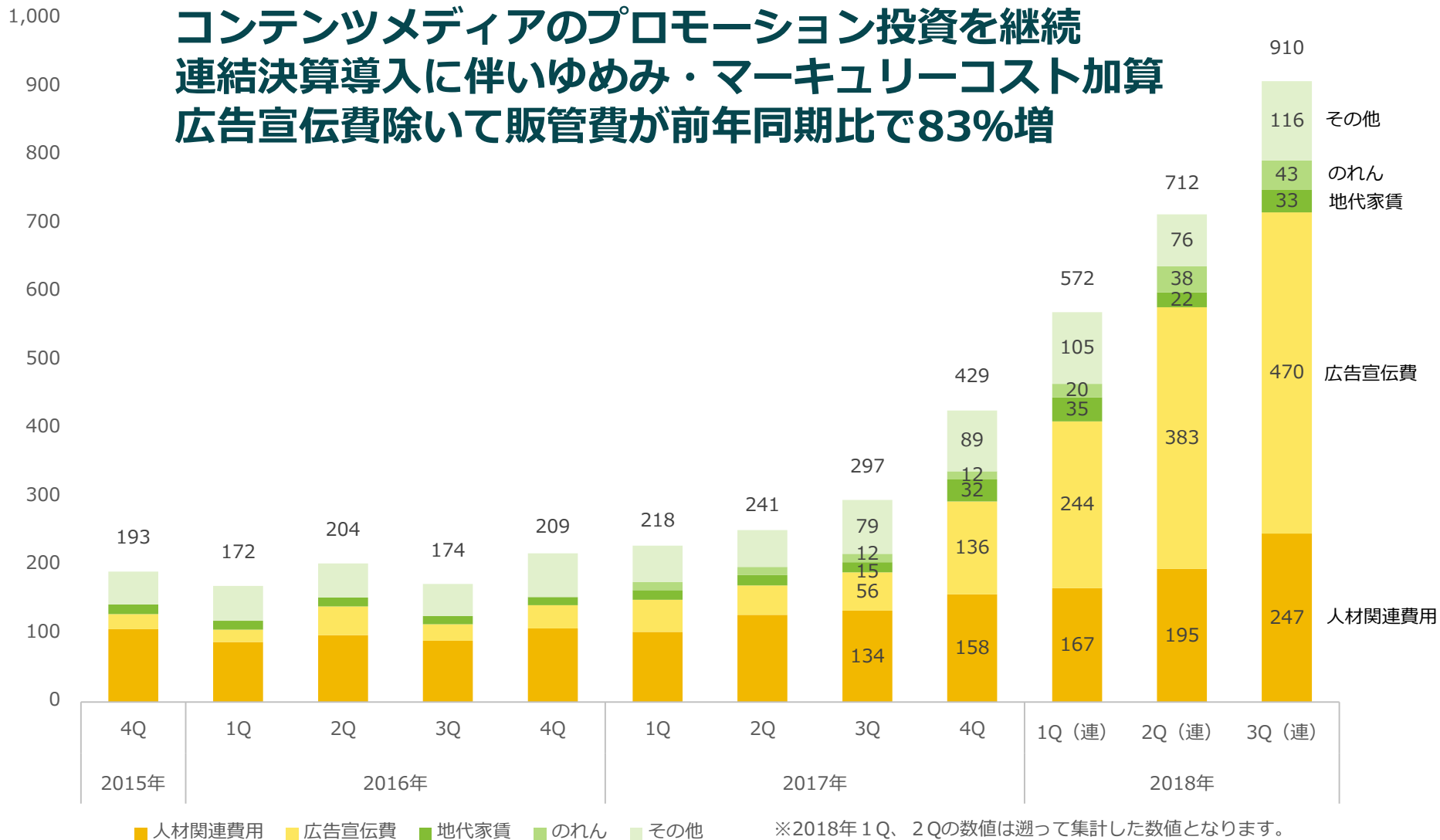
※2018年1Q、2Qの数値は遡って集計した数値となります。

四半期販売費及び一般管理費推移



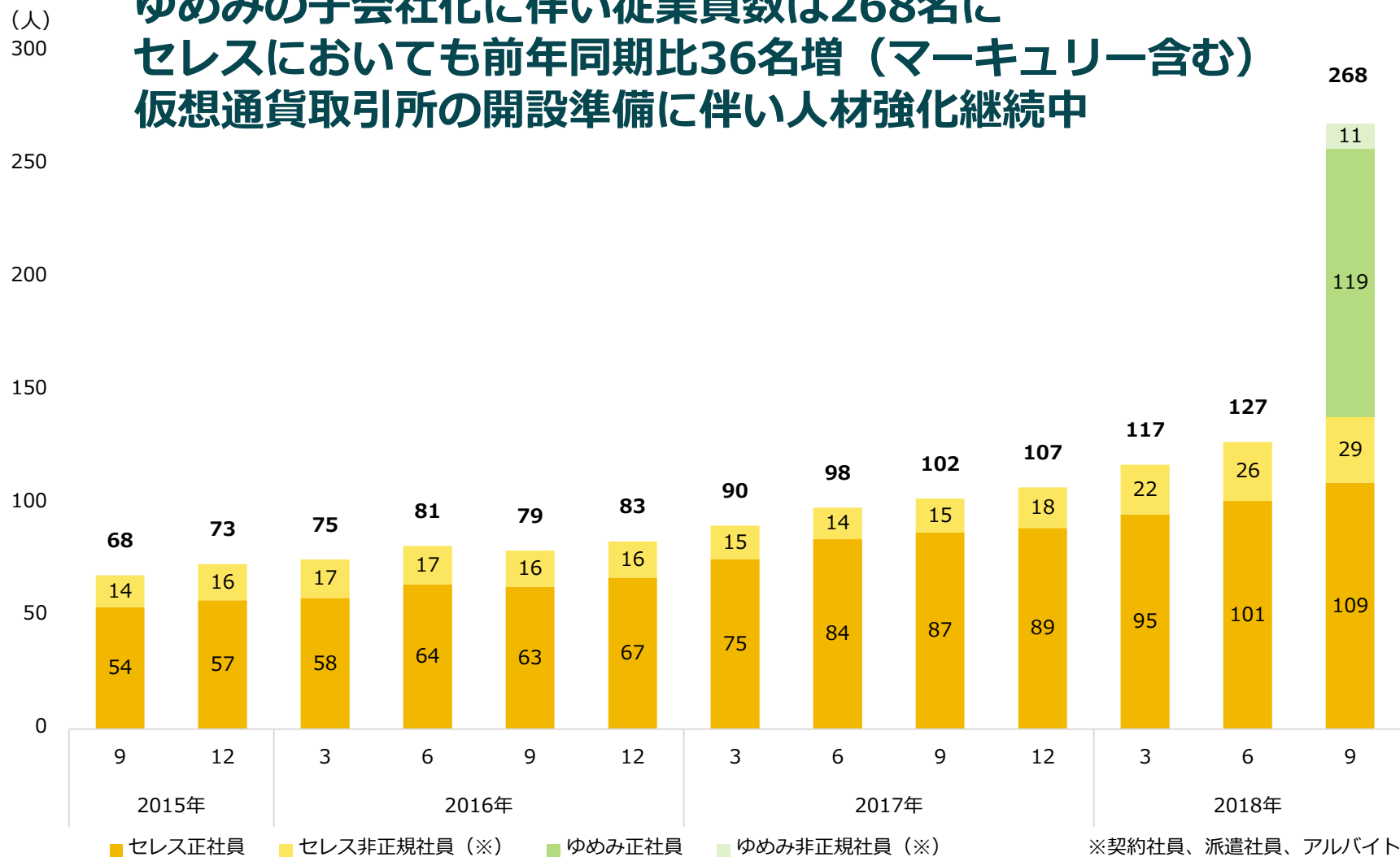
**コンテンツメディアのプロモーション投資を継続
連結決算導入に伴いゆめみ・マーキュリーコスト加算
広告宣伝費除いて販管費が前年同期比で83%増**

(百万円)



※2018年1Q、2Qの数値は遡って集計した数値となります。

ゆめみの子会社化に伴い従業員数は268名に
セレスにおいても前年同期比36名増（マーキュリー含む）
仮想通貨取引所の開設準備に伴い人材強化継続中



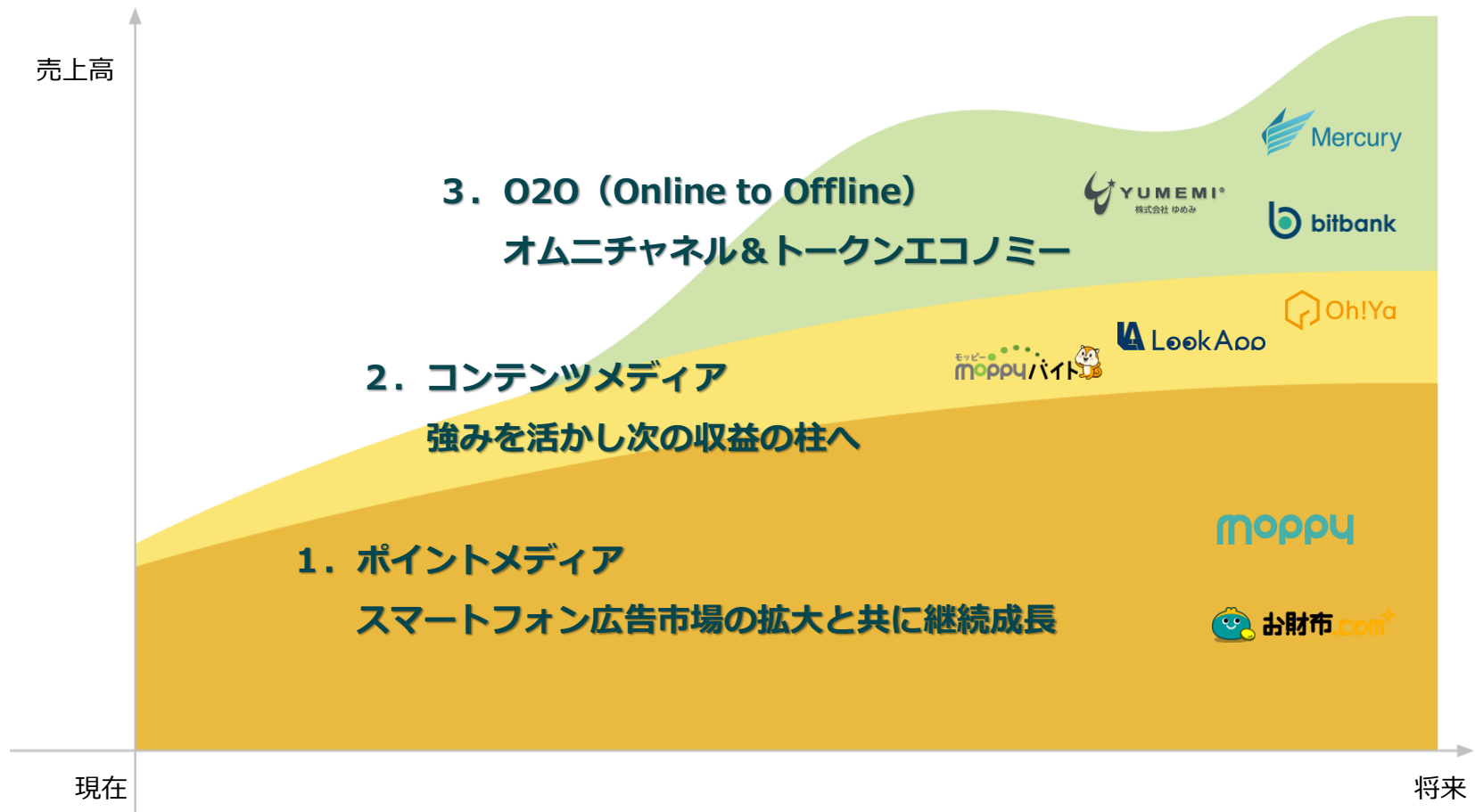
貸借対照表の概要

(単位：百万円)		2018年12月期 第3四半期末	2017年12月期 期末	前年増減額	主な要因
流動資産	6,489 (60.1%)	5,673 (71.0%)	+815	現金及び預金 - 395、売掛金 + 830、 営業投資有価証券 + 261	
固定資産	4,303 (39.9%)	2,317 (29.0%)	+1,986	のれん +1,334 繰延税金資産 + 409	
資産合計	10,792 (100.0%)	7,991 (100.0%)	+2,801		
流動負債	2,726 (25.3%)	1,831 (22.9%)	+894	買掛金 +243、ポイント引当金 +176 1年以内返済予定の長期借入金 +320	
固定負債	1,365 (12.6%)	575 (7.2%)	+789	長期借入金 +559	
負債合計	4,091 (37.9%)	2,407 (30.1%)	+1,684		
純資産合計	6,701 (62.1%)	5,583 (69.9%)	+1,117	四半期純利益 +797 配当金 -130、非支配株主持分 +373	
負債・純資産合計	10,792 (100.0%)	7,991 (100.0%)	+2,801		

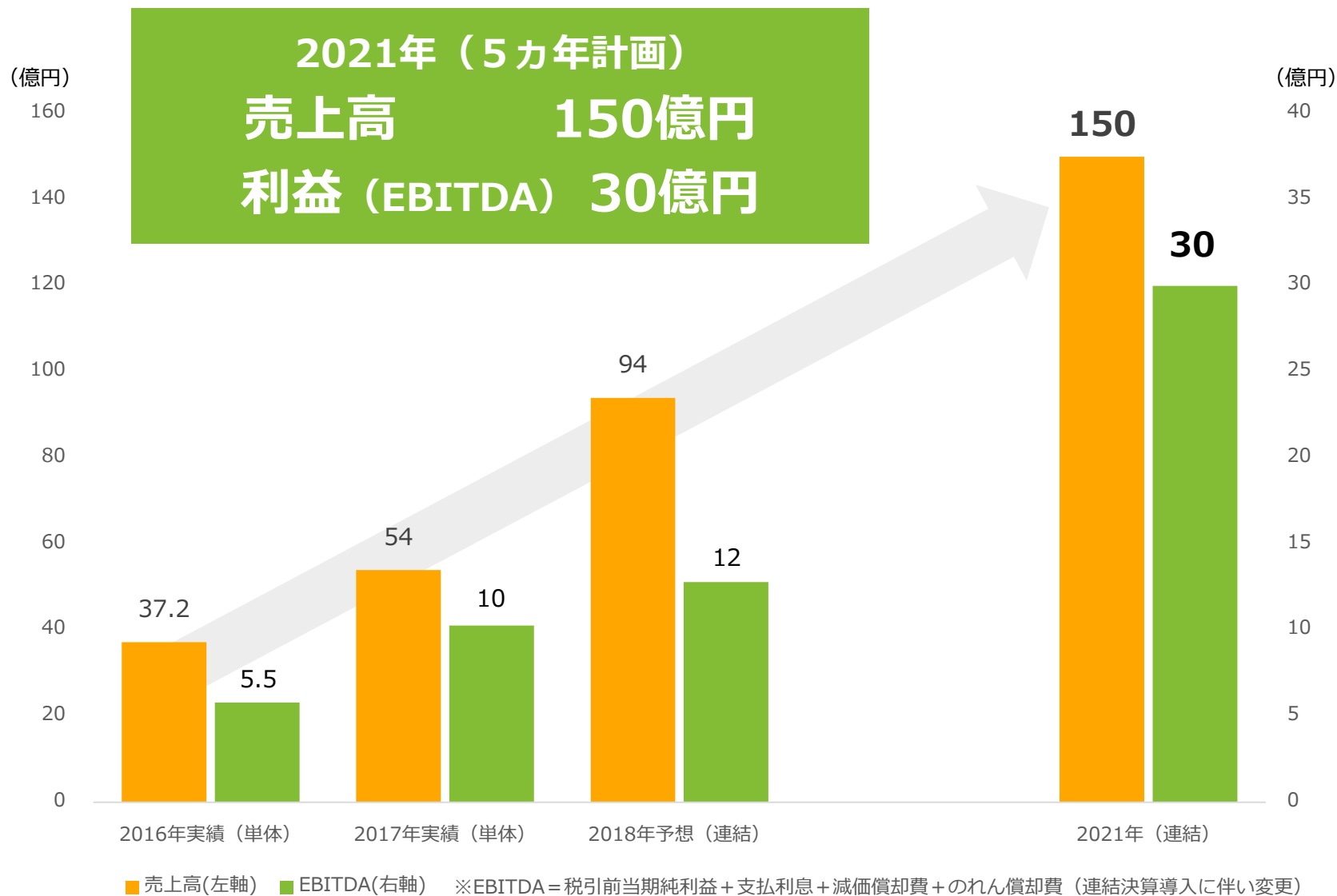


4. 事業概況と成長戦略

「ポイントメディア+a」へ投資を拡大し中長期成長を果たす



中期経営計画（5カ年計画）





2018年12月期 第3四半期

- 7/3 ◎ (株) ゆめみの第三者割当増資の引受 (子会社化)
- 7/13 ㊦ (株) CAMPFIREと資本業務提携
- 7/19 ㊦ 「くりぷ豚」が「IndieSquare Wallet」と提携
- 7/23 ㊦ ビットバンク (株) が業務改善計画書を提出
- 8/2 ◎ (株) ゆめみが札幌オフィス開設を発表
- 8/10 ㊦ (株) GINKANと資本業務提携
- 8/25 ◎ (株) ゆめみがAWS APN アドバンスドコンサルティングパートナーに認定
- 8/30 ㊰ モッピーが「ふわっち」とのポイント交換を開始
- 9/21 ㊤ Oh!ya サイトリニューアル
- 9/25 ㊰ モッピーが「楽天スーパーポイント」とのポイント交換を開始

2018年12月期 第4四半期

- 10/30 ㊰ モッピーが「PayPal」とのポイント交換を開始
- 10/31 ㊦ (株) スマートアプリと資本提携

※ ㊰ : ポイントメディア、㊤ : コンテンツメディア、◎ : オムニチャネル、㊦ : フィナンシャルサービス

《ポイント》モッピーの収益力を強化

モッピーにてポイント交換先を拡大しキャッシュレス社会の推進
モバトクをモッピーに統合し収益力を強化

モッピーのポイント交換先拡大



楽天スーパーポイント

ポイント交換により利便性向上



PayPal

世界最大規模のオンライン決済プラットフォームへの交換で、
キャッシュレス社会の推進を図る



ふわっち

人気ライブストリーミングアプリの
ライバーへの投げ銭を可能に
エンタテインメント性の向上を図る

モバトクの統合

モバトクのモッピーとの統合を決定
2018年末までに移行しモバトクは閉鎖

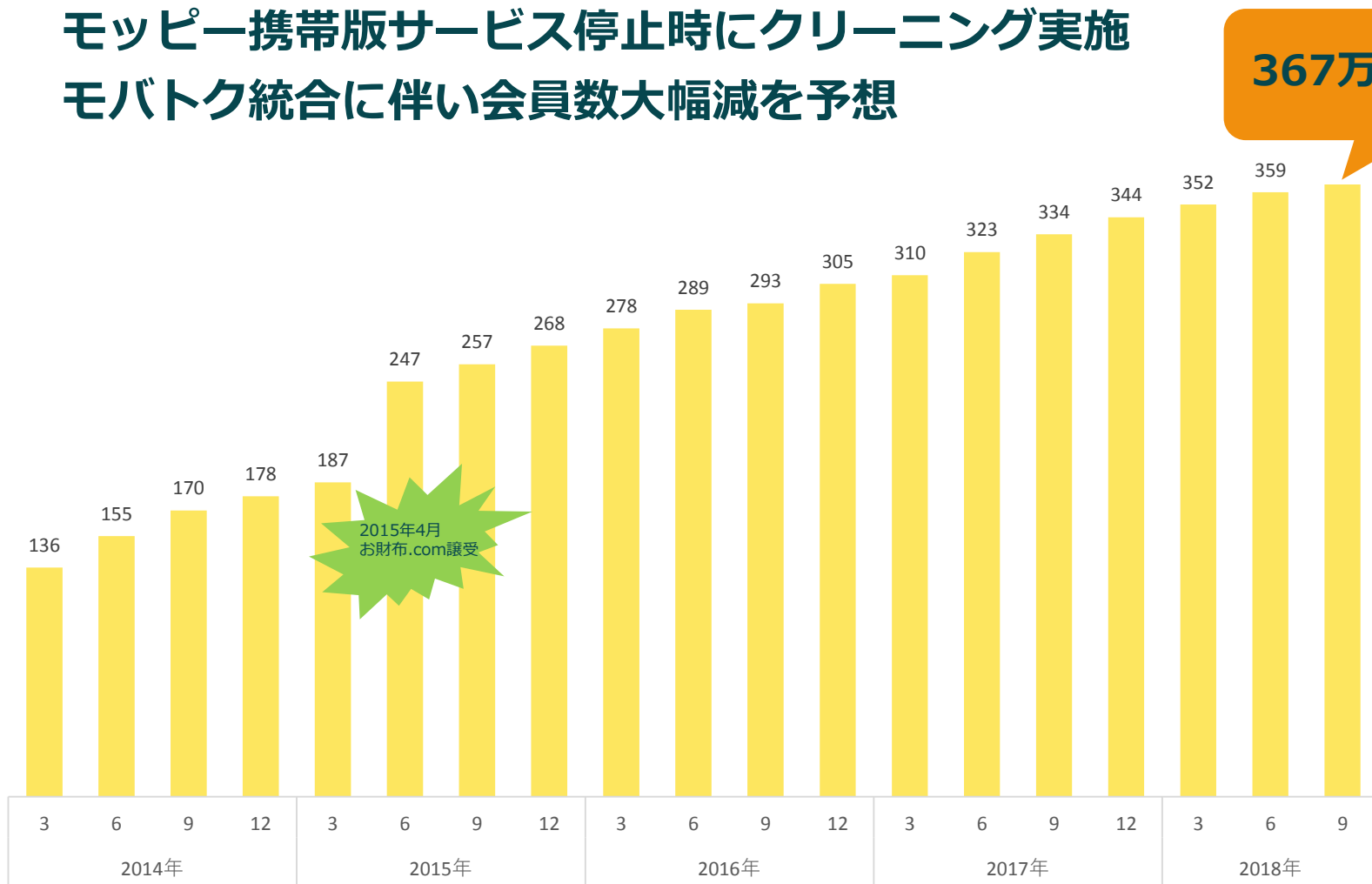
- 運営の一体化によるコスト削減
 - 統合による会員獲得の強化
 - △ 成功報酬収益がメインのため落込みなし
 - 条件アップにより収益力強化を狙う
 - ▼ のれん・システムの減損発生
- 1億円で買収し累計2億円超の営業CF獲得済



アクティブ会員数は367万人に成長 モッピー携帯版サービス停止時にクリーニング実施 モバトク統合に伴い会員数大幅減を予想

(万人)
400

350
300
250
200
150
100
50
0



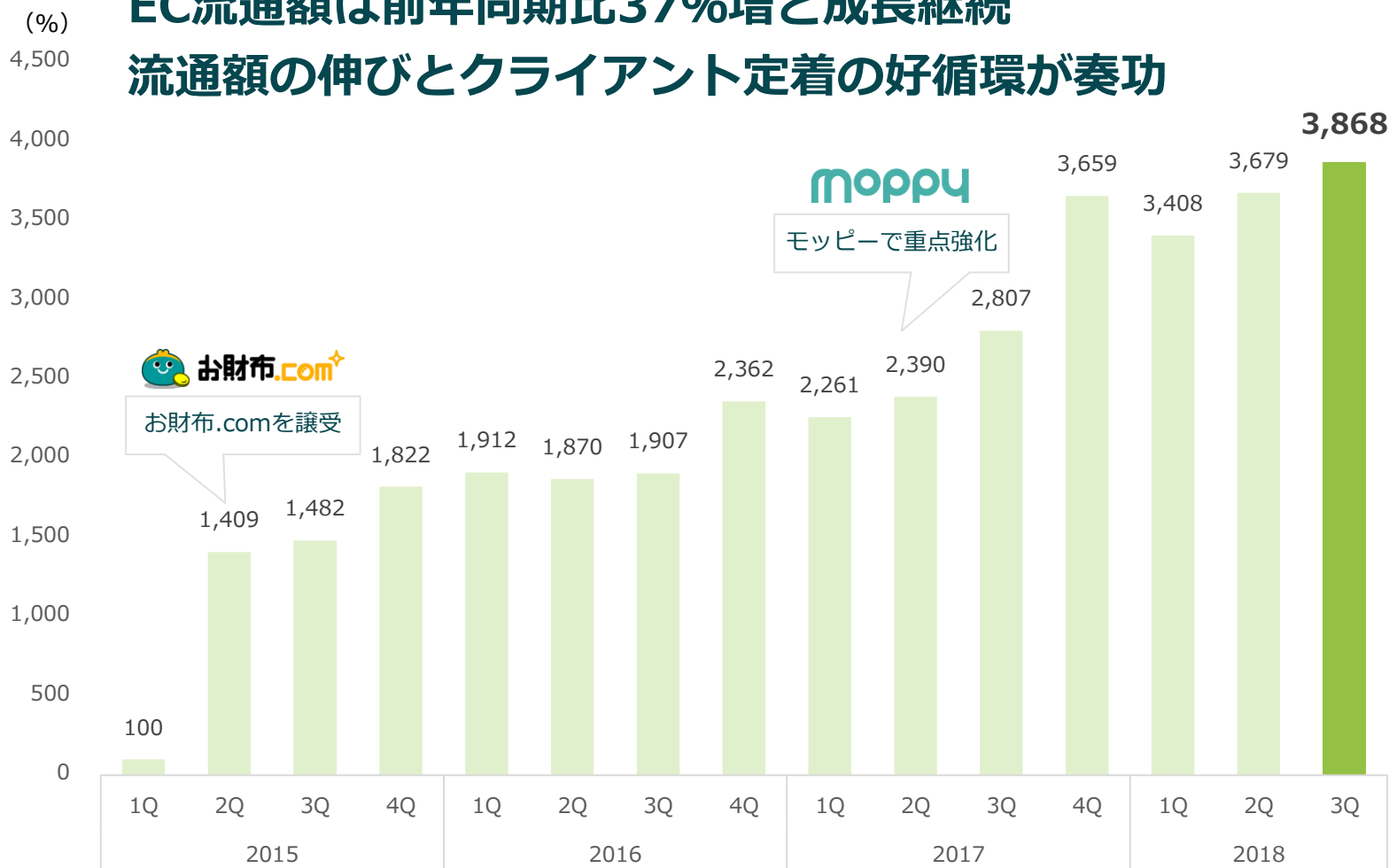
367万人

2015年4月
お財布.com譲受

継続的な重点強化によりEC流通量は増加中

EC流通額は前年同期比37%増と成長継続

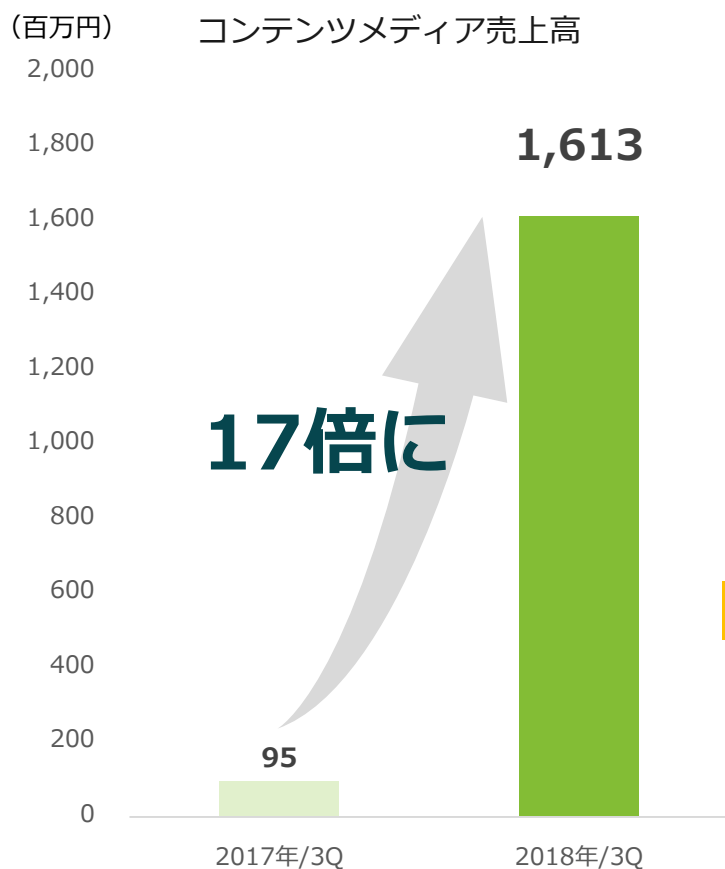
流通額の伸びとクライアント定着の好循環が奏功



※2015年度第1四半期を100%とした際の比較

《コンテンツ》コンテンツメディア事業の成長

コンテンツメディアへの継続広告投資により大幅成長中
広告効率を高め売上高は第3四半期累計比で約17倍に伸長



アルバイト求人サイト「モッピーバイト」

採用課金型アルバイト求人サイト
リブランドを実施しSEO対策を強化
Indeed広告販売とクロスセル実施



投資用不動産情報サイト「Oh!Ya」

初心者から使える投資用不動産情報サイト
サイトリニューアルを経て掲載記事数増加
インターフェイスを改良



基本無料のコミックサイト「チケコミ」

フリーミアムモデルのコミックサイト
大手出版社からの仕入れ開始
KPI改善し積極投資フェーズへ



©天医無縫・伊月慶悟、地引かずや/日本文芸社

オムニチャンネル・インテグレーターとしての第一人者の地位確保
ビジネスサイエンスAIラボにてAIエンジン「Bandit API」を開発

ゆめみの状況

- 既存クライアントを中心に業績好調
⇒ 四半期利益で過去最高に
- 人員増強を見据え札幌にサテライト
オフィスを開設
⇒ 今後地方拠点を拡大予定
- AWS APNアドバンスドコンサルティング
パートナーに認定
⇒ 開発力への信頼



セレスとの共同事業

- ビジネスサイエンスAIラボ
Bandit APIをモッピーに導入
他社メディアへの提供予定
AIビジネスの事業化を推進予定



- セレス×ゆめみで共同サービスを開発中
第4四半期中のローンチ目指す

《トークンエコノミー》 仮想通貨・ブロックチェーン関連事業

仮想通貨取引所をコアにバリューチェーン全般に事業展開
拡大が見込めるDapps市場を見据えウォレット事業へ投資拡大

仮想通貨バリューチェーン



ブロックチェーン・アプリケーション

orb
(2015年出資)

sivira
(2017年出資)

GINKAN
(2018年出資)



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。